



現代作家10人の作品でめぐる「いのち」

[藤井達吉現代美術館]

4/30
-金-

人と人、人と自然を結ぶその大きな「いのち」の表現が鑑賞できる展示会です。会場には、作家が1週間かけて1匹ずつ取り付けたというこの展示会のシンボリックな蝶の壁があり、見ごたえがあります。

いのちと聞くと重いイメージを持つ人もいるので、華やかな蝶を見ることで、重く考えずに作品を鑑賞してもらえればとの思いが込められています。



例年より早い満開

[広藤園]

4/27
-火-

藤まつりの始まる4月24日には見頃を迎えており、例年より早い満開でした。会場では、ベンチに座って藤を見上げる人や、一眼レフカメラで撮影しているようすが見られました。駐車場には、名古屋・豊田・岡崎ナンバーの車も駐車していたように、碧南の藤の名所も広く認知されているようです。



表敬訪問

人・社会の役に立つように

4/28
-水-

丸八証券(株)と包括連携協定を結びました。協定により、市内事業者への支援及び市ふるさと納税の認知度向上への協力、スポーツ・文化イベントへの協賛、教育現場へのお金に関する出前講座の開催などを連携事業とし、シティプロモーション及び産業振興へとつなげていきます。



水に浮く人

[哲学たいけん村無我苑]

5/28
-金-

泳いだり潜ったり、また、展示会のテーマである「水に浮く人」と、水と人をテーマに描かれた数々の作品が、来館者を楽しませています。

作者である近藤千草氏は、プールの監視員をしていたときに、水の揺らめきや、水に人が写ることに面白みを感じたことが描き始めた端緒のようです。

